

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第7回 藤岡地域会議
開催日時	令和4年10月25日午後6時30分開会・午後7時43分閉会
開催場所	藤岡総合支所旧議会棟 会議室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	(1) (仮称) 第2次栃木市総合計画における地域会議から頂戴いたしましたご意見等について(総合政策部総合政策課) (2) 地域未来ビジョンの策定について (3) その他
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	無し
その他必要事項	無し
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
◎会長 ○総合政策課	1 開会 2 あいさつ 片柳会長よりあいさつがあった。 3 議事 (1) (仮称) 第2次栃木市総合計画における地域会議から頂戴いたしましたご意見等について(総合政策部総合政策課) <説明> 担当課に対し、協議事項の説明を求めた。 資料に基づいて説明した。
◎A委員 ○総合政策課	<質問・意見等> いつまでにどういうかたちで実施していくのかが今回の説明では見えてこないが、これから出すの資料には載っているのか。 基本計画は10年間を前期と後期5年ごとに分け、今回は令和5年～9年の前期基本計画について11月16日からパブリックコメントを実施する。今日は、去年藤岡地域会議からあがった意見に対してどのように反映したかの説明となる。
◎会長	他に意見はないか。

	— 意見等なし —
◎会長	議事の終了により、総合政策課に退席を求め、次の議題に入ることを述べた。
	— 総合政策課職員は退席 —
	(2) 地域未来ビジョンの策定について
	<説明>
◎会長	事務局に対し、協議事項の説明を求めた。
○事務局	資料に基づいて説明した。
	<質問・意見等>
◎会長	9月21日に開催されました南部まちづくり意見交換会に参加したB委員、C委員より報告をしていただきたい。
◎B委員	市の若手職員の提案した事業がたくさんあり、面白い集まりだと思った。大学の先生から講義を受けた手法だったが、昔大学時代にやった講義と同じだった。検討するには時間が短すぎた。もっと時間をかけてやるべきだと思う。内容については今の時代に沿ったものなのではと思った。
◎C委員	自己紹介や南部地域の方から様々な意見が出た。バーチャルを使ったゲーム感覚の事業の提案も出ていた。藤岡地域だけにとらわれない栃木市全体としての見方も学べた。他の方にもぜひ参加していただきたい。
◎会長	事務局に対し、藤岡地域未来ビジョンの説明を求めた。
○事務局	資料に基づいて説明した。
◎会長	まずI番、II番について修正や意見はあるか。
◎D委員	地域の魅力・課題の車に乗れない人にとって、交通の便が悪く、生活が不便であるはテーマのどこに当てはまるか。
○事務局	ぴったりと当てはまっていなくてもいいかもしれないが②安心・安全な生活を確保し、助け合いの藤岡地域である。違うなというのであれば見たいの姿のテーマを変えていく必要がある。
◎会長	他にご意見があるか。
	— 意見等なし —
	まだ時間があるので考えてもらえれば。現時点では今までの地域会議で出てきた課題等をもとについてまとめたものになるので、他に魅力・課題があれば提出してもらいたい。
	続いてⅢ、Ⅳについて何か意見はあるか。
◎D委員	I C T技術とは何か。
○事務局	コミュニケーション技術のことで、I T技術と同じようなもの。例えばV R (バーチャルリアリティ) やスマホなど様々なツールを含めた表現となる。想定している未来としては、渡良瀬遊水地を訪れた人が、昔の谷中村にタイムスリップしたように撮影できたり、遊水地周辺の環境学習につなげていくことである。V Rは、ゴーグルをつけて谷中村行くと昔の様子が見られたりできる。

	また、AR（拡張現実）は、実際の場所に行ってスマホをかざすと昔の様子が見られるような技術である。
◎会長	小山市にAR技術を使った施設がある。その技術を使えば昔の渡良瀬遊水地の様子とかを現実的に見せることができる。
○事務局	今の技術だと数年前には想像もできなかったことができるので、期待が大きいのではないかとということで事業として挙げさせてもらった。
◎E委員	足尾鉍毒事件を勉強できる場が歴史民俗資料館しかないので、課題として挙げたらいいのではないかと。また、テーマとして③様々な世代が安心して集える場所のある藤岡地域を挙げているが、児童館もないし公民館も集約されてしまったらみんなが集まれる場所がなくなってしまうことも課題ではないだろうか。
◎会長	藤岡地域の意見として挙げた藤岡駅周辺整備と藤岡地域内の公共施設の環境整備が、総合計画には駅周辺における都市機能の整備促進として1つにまとまってしまっている。施設の集約と施設の環境整備なので別のものである。その辺をどう考えるか。栃木市全体としては1つにまとめるしかないのであれば、藤岡地域の未来ビジョンには提案していくか。非常に難しいと思う。イメージとして、公園や空き店舗を活用して、とあるがどのように考えているのか。
○事務局	意見交換会で挙げた特色ある事業で、子どもが安全に遊べる場所がないので、お年寄りの方が駄菓子屋をやって子どもたちが安心して集える場所があるといいな、という意見があった。栃木市としてやる事業ではないと思うが、民間の活力を生かしながら事業が展開できないかというイメージでまとめさせていただいた。幅広く市の施設の整備のあり方に取り組めるかは協議しないとイケないが。
◎会長	踏み込むことは難しいと思う。市の方針とはいえ、統廃合が進み、集える場所がなくなることは藤岡地域としては課題である。どのように課題として出したらいいかは難しいが課題として挙げたい。
○事務局	事務局で課題として整理したい。
◎A委員	渡良瀬遊水地は、野鳥や自然豊かな場所ではあるが、歴史的遺産も魅力になるのではないかと。自然ツーリズムだけでなく、ダークツーリズムとして谷中村の歴史を今後繰り返さないように活用していくことも魅力になるのではないかと。
◎B委員	過去の歴史を残すとなると、谷中村に手を加えることが必要だと思うが、ラムサール条約登録湿地になると手をかけられなくなる。やるとすれば渡良瀬遊水地の外でやるしかない。動物の捕獲もできず、農作物が荒らされても対策ができない。谷中村を残すとなるとVRなどの技術で再現するしか残せないのではないかと。ラムサール条約の制限を理解しておいたほうがいいと思う。
◎D委員	イノシシの駆除はできないのか。まず渡良瀬遊水地をアピールするのであれば駆除しないと危険なのではないかと。
◎B委員	指定地域内では捕獲できない。捕獲して逃がすしかない。

○事務局	イノシシが増えていることは確か。捕獲は許可制でなかなか許可もおらず、渡良瀬遊水地の外でわなをしかけるしかない。渡良瀬遊水地内で捕獲するには環境省の許可が必要と思われる。
◎A委員	イノシシに遭遇したり、フンもたくさん落ちている。訪れる人に迷惑がかからないような対策は必要だと思う。
◎会長	実際にできるかは別問題なので他に何かありましたら、次回の地域会議までに意見があれば出してもらいたい。
○事務局	アンケート用紙を用意したので、他に意見があれば11月25日までに提出して欲しい。
◎会長	意見があれば事務局のほうに出して欲しい。次の議題に入ることを述べた。 (3) その他 —特になし— 特に意見等もないため、(3) その他の協議を終了するとともに次第3の議事を終了することを述べた。
○事務局	4 その他 委員から何かあるか。
◎A委員	以下の報告及び参加のお礼があった。 ・赤麻地区クリーン作戦について ・みかも山健康ウォーキングについて
○事務局	事務局から以下の1点について連絡した。 ・「第6回地域会議会議録の写し」について ・10月7日に会長から栃木市長へ地域予算事業計画書を提出した。提出した資料を配布したのでご一読をお願いしたい。 次回の地域会議は、令和5年1月24日(火)午後6時30分から同会場で行う予定である旨を連絡した。
	5 閉会 午後7時43分をもって第7回藤岡地域会議を閉会する旨を宣言した。

別紙1 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

会長	片柳理光	副会長	進上一巳
委員	青木雅之	委員	飯塚豊
委員	岡弘樹	委員	五月女博美
委員	星野清	委員	大澤孝子
委員	野澤和子	委員	松島宏恵
委員	石川淳子	委員	伊勢智恵

欠席者（委員）

委員	田原勲	委員	福地克人
委員	小堀勝一	委員	平塚亜季子

出席者（事務局）

地域振興部藤岡地域づくり推進課（藤岡地域まちづくりセンター）

海老沼博行（課長）	田中徹（副主幹兼地域づくり推進係長）
北村あゆみ（地域づくり推進係主査）	

出席者（担当課）

総合政策部総合政策課

佐藤澄江（副主幹）	岡正美（主査）
-----------	---------